

技術監理局

一般会計要求総額 179 百万円
(対前年度 ▲19.0%)

【令和5年度 予算要求の方針】

技術監理局は、公共工事の適正な執行と品質確保、良好な施設の維持管理を総合的にサポートするとともに、公平・公正な契約制度の運用に努める。

令和5年度は、公共工事の施工時期の平準化やICT技術の活用により、「新・担い手3法」が規定する建設業の「働き方改革」「生産性向上」を更に推進する。

また、令和4年4月に策定した「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づく取組を着実に実行する。

【令和5年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、◎：拡充事業

◎公共工事の適正な執行

要求額 88百万円

公共工事を適正に執行するため、国及び他都市の取組状況や市場動向を調査し、設計単価及び設計積算基準等の改定を行う。

- ・ 技術管理関連業務
- ・ 土木積算システム改修業務
- ・ プラント積算システム改修業務
- ・ ◎土木資材単価調査業務

◎公平・公正な契約制度の運用

要求額 47百万円

登録業者の実態や入札参加資格の調査、公共工事における暴力団等の不当介入にかかる相談業務等を行い、公平・公正な公共工事の入札及び契約に努める。

- ・ 登録業者の実態調査
- ・ 公共工事に係る暴力等相談業務
- ・ 北九州市入札等監視委員会運営経費
- ・ 電子入札・契約管理システム改修等経費

◎「新・担い手3法」を踏まえた 建設業の「働き方改革」「生産性の向上」の推進

要求額 12百万円

市民の安全・安心を守る公共事業の担い手確保・育成に向けて、公共工事関係部署のDXやi-Constructionの取組による建設業の「働き方改革」「生産性向上」を更に推進するとともに、建設業の魅力発信を行う。

- ・ 公共工事関係部署のDX推進事業
- ・ 公共工事関係部署における「しごと改革」推進事業
- ・ i-Construction推進事業
- ・ 明日の公共事業を支える人材確保・育成事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。

令和5年度技術監理局予算要求方針

1 令和5年度技術監理局予算要求総括及び方針

(1) 令和5年度技術監理局予算要求総括

【一般会計】

職員数 85人 (令和4年10月1日現在)
(うち正規+再任用フル 79人)
(うち再任用短時間 6人)

令和5年度要求総額	179,031千円
(令和4年度予算額	220,905千円)
前年度比	▲19.0%

(2) 令和5年度技術監理局予算要求の方針

技術監理局は、公共工事の適正な執行と品質確保、良好な施設の維持管理を総括的にサポートするとともに、公平・公正な契約制度の運用に努めます。

令和5年度は、公共工事の施工時期の平準化やICT技術の活用により、「新・担い手3法」が規定する建設業の「働き方改革」「生産性向上」を更に推進します。

また、令和4年4月に策定した「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づく取組を着実に実行します。

2 重点的に取り組みを行いたい主なもの

(1) 公共工事の適正な執行

- ・**拡充**土木資材単価調査業務 2,800千円
今般の急激な物価変動を公共事業の予定価格に適切に反映させるため、工事積算システムで使用する資材単価調査の回数を増やします。

(2) 建設業の「働き方改革」「生産性の向上」の推進

- ・公共工事関係部署のDX推進事業 5,779千円
工事の起工から竣工までの各種工事情報を関係課が共有するシステムを整備し、業務の効率化を図ります。